

リケジョ 先輩聞かせて

中高生ら40人参加のシンポ

理系に進む女子生徒を増やそうと、お茶の水女子大・理学系女性教育開発共同機構（東京都）は11日、山梨英和中学校（甲府市愛宕町）で「リケジョー未来シンポジウム@Yamanashi サイエンスの学びから将来の夢へ」を開いた。イベントには、県内の女子中高生ら約40人が参加した。

講師として招かれたワイナリー「中央葡萄酒」（甲州市）栽培醸造部長の三澤

彩奈さんは、「キャリアや結婚、出産で悩む時期が来るかもしれないが、目標に向かって頑張ってほしい」と話した。また、甲南大理工学部（神戸市）特任研究准教授（化学）の上田晴子さんは、「頭で考えるよりも、まずは試してみることも重要」と、行動することを呼びかけた。

その後、女子中高生たちは、三澤さんや上田さんとお茶を飲みながら懇談。「理系に進むと、卒業後の選択

肢が少なくならないですか？」「研究は社会にどのように役立ちますか？」などと質問していた。

山梨英和高校2年の工藤有紗さん（17）は、「理系に進んだら勉強についていけないかどうか心配だったけど、『最初は理系科目に不安があった』と聞いて、頑張れば目標は実現できると勇気づけられた」と目を輝かせていた。



上田さん（右）を囲んで話を聞く女子生徒たち